

(学校用)

様式 A-1

平成 28 年 7 月 22 日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 東京都立多摩科学技術高等学校 ・ 久保 桃子
2. 講師氏名: Mohsen JAFARI SONGHORI 博士
3. 同行者氏名: 黄 冬陽 氏(修士課程)
4. 実施日時: 平成 28年 7月 15日 (金) 9:40~11:30
5. 参加生徒: 2年生 205人 (合計 205人)
備考: 科学技術科の生徒
6. 講演題目: (英文)How computer science enables firms to design more innovative products?
(和文)コンピュータサイエンスが、どのように企業の革新的商品開発を可能にするか
7. 講演概要:
企業による新製品開発の 40 パーセントは失敗に終わるというデータを提示するところから講演が始まり、いかに消費者のニーズにあう高品質な製品が作られるか、またその過程・仕組みはどういったものか、どのような考え方で進んでいるか、という内容であった。
また講師の母国(イラン・オーストラリア)の紹介にも時間を割いていただき、写真も多く見せてくださったので、生徒の理解も深まった。
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
 - (1) 講演時間 80 分 質疑応答時間 15 分
 - (2) 講演方法
プロジェクター使用による講演(実験・実習はなし)
 - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
同行者によるサポート(一文ずつの通訳ではなく、チャプターごとの概要説明)
 - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
事前に講師より送付していただいた概要メールをもとに作成したプリント
10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金
該当なし
11. その他特筆すべき事項: 特になし